

プロムジカ使節団 / Promusica Baroque Academy
古楽オーケストラ

Promusica Continuo 株式会社
2023年12月21日



企業向け協賛金提案書

1. 概要：

プロムジカ使節団

2024年度 定期演奏会

『All Bach Cantatas』J.S.バッハ カンタータ作品全曲演奏プロジェクト



**2024年度より、
J.S. バッハ・カンタータ全曲演奏に挑戦！！**

[弊団、及び All Bach Cantatas プロジェクトの目的]

○ 弊団は、2024 年度より J.S.バッハのカンタータ作品(約 220 曲)の全曲演奏を目標に掲げて活動を展開して参ります。約 20 年を要する大プロジェクトとなる予定です。

バッハのカンタータ作品は、数多あるバロック期に作曲された作品の中でも、最高峰に位置するチクルスであることは間違いありません。世界的に活躍する古楽団体の多くは、この作品群の演奏と研究に取り組んでいますし、日本でこれを成し遂げた団体は Bach Collegium Japan しかありません。

弊団は、それに続く世界に通ずるオリジナル楽器によるバッハ演奏団体を目指し、2024 年より、その第一歩を踏み出します。

継続的なカンタータ作品の定期公演を重ねた上で、

1. 東京・福島発の世界に通ずるバッハ演奏団体（古楽演奏団体）として認められる。
2. 毎年ドイツのライブツィヒで開催される世界的なバッハ音楽祭 Bach Fest への招聘
3. 海外ツアーの開催

など、国際的な舞台で認知され活躍できる古楽演奏団体となることが最終的な目標です。

○ 日本の中心である東京都、そして「楽都郡山」を謳う郡山市の発展と音楽文化、音楽教育の向上に寄与することも、弊団の目標の一つです。

弊団代表である圓谷は福島県立安積高等学校（120 期）の卒業生であり、合唱部に所属していました。そこで、ルネサンス期の合唱曲に触れる機会が多く、音楽室にあったルネサンスからバロック音楽の CD を片っ端から聴いていました。「合唱王国ふくしま」を知ったのはその時で、コンクールへの参加を通してそのレベルの高さに驚愕したことを覚えています。その後、東京藝術大学に進学し「東京藝術大学バッハカンタータクラブ」への入部をきっかけに、バッハのカンタータ作品に出会うことになります。「音楽の父」とも呼ばれるバッハですが、ピアノを習ったことのある人であれば、誰しも一度は彼の作品を弾く機会があるでしょう。しかし、彼の鍵盤作品は知っていても、声楽作品が存在することを知る人はまだまだ少ないと思います。私自身も、恥ずかしながら、上京するまで知りませんでした。

そして、特筆すべき点は、バッハのカンタータ作品 200 曲あまりには、バロック音楽における全てが詰まっているといっても過言ではないのです。

古楽的なアプローチの中心に、「温故知新」という考え方があります。これは、一つ前の時代の様式や歴史的背景を知ること、演奏する曲の理解が深まり、より説得力のある演奏の実現を目指すというものです。

当たり前ですが、作曲家はいきなり曲が書けるようになるわけではありません。我々の演奏技術の習得と同じように、すでに存在している曲の写譜をしたり、活躍する先輩音楽家のレッスンを受けて、一人前となっていきます。その過程で前時代からの影響を必ず受けるのです。印刷技術が不完全であった時代において、楽譜はある意味不完全なものであり、書かれていないもの、を読み取る術が必要であると知ることが重要です。

この温故知新の考え方は、バッハ以後の音楽においても当てはまります。ショパンを演奏す流にしても、歴史を辿るように勉強していくことで、より多くのものを得ることができる可能性があることは明らかです。

バッハ以前の音楽は、彼によって集約される。

そして、バッハ以後の音楽は彼の音楽が源流である。

**バッハはまさに、その重要なポイントに立つ偉大な作曲家であり、
だからこそ「音楽の父」と呼ばれるのです。**

カンタータ作品の響きを知ること、バッハをはじめとする全てのピアノ作品の演奏においても多に役立つことは、私が1番感じていることです。

このような体験を、高校時代、もっと言えば中学時代にしてみなかった。

そんな思いが湧き上がってきます。

これからの「楽都郡山」を担う素晴らしい音楽家の卵、そして郡山市の音楽文化、音楽教育の発展を支える皆様と、バッハのカンタータ作品を通じてコミュニケーションができる機会があったら、なんて素敵なのだろう、と期待に胸を膨らませます。

以上が、バッハのカンタータ作品の演奏会の継続的な開催を郡山市と東京の二ヶ所で実現したい理由です。

プロフェッショナルな音楽家集団の社会的な役目

バッハの作品は、とてつもないエネルギーを持っています。それは、**聴衆・我々に元気を与え、生きる希望や前向きな気持ちを抱かせると確信**します。また、聖書の内容やコーラル旋律は、500年以上に渡り受け継がれてきた人類の歴史的財産でもあり、キリスト教に由来するこれらの**素晴らしい文化にふれ、次の世代へと継承することも重要な我々の役目**であります。

福島・東京発の古楽団体が世界を目指してカンタータ全曲演奏に誠意取り組む姿を通して、様々な人と出会い、このプロジェクトが**聴衆と我々の共有の「夢」**となることができれば嬉しく思っております。

応援とは「夢と一緒に追いかけることだ！」

をキャッチフレーズにその輪を大きくしていくことで、健康で平和な世の中を作っていくことに貢献することができるならば、それこそが**プロフェッショナルな音楽家集団の社会的な役目**であると確信します。

また、古楽の普及活動とともに、当団の考えるバッハ像と彼の音楽の本質を世の中に問いかけていくことで、**文化的な水準の高い社会の実現に貢献していきたい**と考えています。このチクルスの完成を目標に据えて活動・研究することで、**カンタータというマイナーではあるが素晴らしい芸術作品の魅力を外に広げ、さらにはオリジナル楽器の普及とその技術の向上に努めて参ります。**

高い専門性とその分野のエキスパートとしての将来性を備えている弊社メンバーにとってもキャリアの重要な節目や転機となる活動であることは間違いありません。将来、**バロック音楽の分野において指導的な立場となる人材の育成**も弊団の担う役目であります。

併せて、これからバロック音楽を学ぶ優秀な人材の発掘・育成とその実践機会の提供の場を作ることができましたら幸いです。



プロムジカ使節団 / Promusica Baroque Academy 古楽オーケストラ

今、最も旬な古楽オーケストラであり、今後の成長に各方面から大きな期待が寄せられている。チェンバロ・通奏低音奏者 圓谷俊貴のもと国内外で活躍する若手実力派古楽奏者が集まり 2020 年に設立。コンサートミストレス 池田梨枝子、首席チェロ奏者 山本徹、首席オーボエ奏者 荒井豪、首席トランペット奏者 斎藤秀範をはじめ、国内外で活躍する若手実力派オリジナル楽器奏者で構成される。J.S.バッハのカンタータ全曲演奏を目標とする。「古楽で多くの人に夢と希望を与える」を理念として、幅広い観客層を惹きつけるべく、公演の主催・制作・運営を行っている。時代を超え、あくなき探究心で航海を続ける日本古楽界の令和の黒船である。



沿革

2020 年 12 月 Promusica Continuo 株式会社 設立/ プロムジカ使節団立ち上げ

<主催公演>

2021 年 9 月 プロムジカ使節団旗揚げ公演「文明開花 vol.1」以降シリーズ化して毎年開催
同年 10 月 ヘンデル「メサイア」公演
2022 年 8 月 プロムジカ使節団器楽公演「文明開花 2」
同年 10 月 シュッツ没後 350 年記念公演、及び、菅沼起一氏によるレクチャー開催
2023 年 4 月 プロムジカ使節団器楽公演「文明開花 3」
2023 年 11 月 Duo ～ヘンデル作品を集めて～ ソプラノ:澤江衣里, アルト:中嶋俊晴
2023 年 12 月 Misaki on Baroque ソプラノ:森野美咲 等。

<依頼公演>

2022 年 12 月 公益財団法人 国際音楽振興財団主催「プロムジカ使節団 バロックの彩り」
2023 年 1 月 合唱団コレギウムヴォカールレプラフォンテ主催「ロ短調ミサ曲」
2023 年 3 月 横浜合唱協会主催「ヨハネ受難曲」等。



2. プロジェクトの概要：

2024 年度 主催公演 概要

1. プロムジカ使節団 定期演奏会『All Bach Cantatas』 第 1 回公演

日時：2024 年 8 月 1 日(木)

場所：としま区民センター 多目的ホール

指揮：圓谷俊貴

演奏：プロムジカ使節団

プログラム： J.S.バッハ, カンタータ

"Christ lag in Todesbanden" BWV 4,

"Komm du süßes Todesstunde" BWV 161,

"Gottes Zeit ist Allerbestezeit" BWV 106

新曲委嘱作品：作曲 平川加恵, マルティン・ルターによるコラール（グレゴリオ聖歌：Victimae paschali laudes）を用いた新曲作品

2. プロムジカ使節団 定期演奏会『All Bach Cantatas』 第 2 回公演

日時：2024 年 8 月 23 日(金) 予定

場所：日本福音ルーテル東京教会

指揮：圓谷俊貴

プログラム： J.S.バッハ, カンタータ

"Ich habe genug" BWV 82,

"Der Friede sei mit dir" BWV 158 他

バス：加来徹

3. プロムジカ使節団 定期演奏会 ヨハネ受難曲 ～初演 300 年記念演奏会～

日時：2024 年 12 月 14 日(土)

場所：狛江エコルマホール 大ホール *ホールと共催公演

指揮：圓谷俊貴、福音史家：中嶋克彦、イエス：加来徹

プログラム： J.S.バッハ 《ヨハネ受難曲》 BWV 245, 第 4 稿

[ターゲットオーディエンス]

- ① 日本在住のバッハファン・バロックファン・古楽ファン(主に東京近郊、福島県在住者)
- ② YouTube 等に演奏動画を公開し、**世界に弊団の演奏を発信**してワールドワイドに視聴者とファンを獲得していきます。(現在は YouTube 登録者 1030 人、アナリティクス:日本 97%, 海外 3%)
- ③ SNS(X, Instagram, Facebook 等)を活用して、その周知に努めます。
- ④ メディアへの露出回数を増やす努力をしていきます。

2023 年 11 月 1 日より、**会員制サービスを導入し、無料会員から有料会員まで募集し、観客層の拡充と収入の多角化を目指しています。**

弊団ホームページから申し込みが可能です。

<https://www.promsinc.com/register/>

SNS をフルに活用し、X(旧 Twitter)では弊団の主催公演と依頼公演の宣伝や聴きどころについて投稿、演奏動画も投稿し演奏会の雰囲気がかかるように努めます。Instagram では主にリールを使い、初めて弊団の演奏を聴く人々へのアプローチを行っています。Facebook は記事の文字情報を充実させ&Facebook 広告も使い、高齢者層を中心に広くアプローチするように心がけています。Youtube の登録者は 1060 名 (2024 年 1 月 20 日現在)。積極的に演奏動画を投稿し、ファンを増やす努力を続けます。**会員を「プロムジカ・クルー」という名称で呼び、一緒に船に乗って目標に向けて船を漕ぐ仲間としてファンを迎えることで親近感を演出しています。**今後の団体の継続的発展と創客のために、学生券を全ての公演に設定し、若者も弊団のコンサートに足を運びやすいようにする計画を立てています。

[期待される参加者数]

過去に開催した弊団の主催公演への最大来場者数は 220 名。

2024 年度 目標観客動員数

350 名 : 『All Bach Cantatas』 第 1 回公演

170 名 : 『All Bach Cantatas』 第 2 回公演

450 名 : ヨハネ受難曲 ～初演 300 年記念演奏会～



3. 協賛パッケージ：

期間：2024年4月～2025年3月

全て、『広告宣伝費』として、経費計上させていただきます。

プラチナスponsorシップ：

300万円以上

弊団ホームページにロゴをご記載。

チラシにロゴをご掲載

主催公演のプログラムに企業様名・ロゴをご記載+企業様広告をご掲載
代表+メンバー着用のTシャツ**胸と背中**にロゴをプリント。

→ リハーサル時の動画配信、ファンイベントなどの際に着用。

ファンイベントへのご招待

主催公演 先行予約のご案内

主催公演 プレミアムエリア席へのご招待

ゴールドスponsorシップ：

200万円以上

弊団ホームページにロゴをご記載。

チラシにロゴをご掲載

主催公演のプログラムに企業様名・ロゴをご記載+企業様広告をご掲載
代表+メンバー着用のTシャツの**肩の部分**にロゴをプリント。

→ リハーサル時の動画配信、ファンイベントなどの際に着用。

ファンイベントへのご招待

主催公演 先行予約のご案内

主催公演 プレミアムエリア席へのご招待

シルバースポンサーシップ：

100 万円以上

弊団ホームページにロゴをご記載。

チラシにロゴをご掲載

主催公演のプログラムに企業様名・ロゴをご記載+企業様広告をご掲載

主催公演 先行予約のご案内

主催公演 プレミアムエリア席へのご招待

ブロンズスポンサーシップ：

50 万円

弊団ホームページにロゴをご記載。

チラシにロゴをご掲載

主催公演のプログラムに企業様名・ロゴをご記載+企業様広告をご掲載

主催公演 先行予約のご案内

主催公演 プレミアムエリア席のチケット 2 枚をプレゼント

セミブロンズスポンサーシップ：

30 万円

弊団ホームページにロゴをご記載。

チラシにロゴをご掲載

主催公演のプログラムに企業様名・ロゴをご記載+企業様広告をご掲載

主催公演 先行予約のご案内

主催公演 プレミアムエリア席のチケット 2 枚をプレゼント

個人スポンサーシップ ゴールド：

1口 10 万円

弊団ホームページにお名前（ペンネーム可能）をご記載。

主催公演のプログラムにお名前（ペンネーム可能）をご記載。

主催公演 先行予約のご案内

主催公演 プレミアムエリア席にご招待

個人スポンサーシップ シルバー：

5万円

弊団ホームページにお名前（ペンネーム可能）をご記載。

主催公演のプログラムにお名前（ペンネーム可能）をご記載。

主催公演 先行予約のご案内

主催公演 プレミアムエリア席にご招待

個人スポンサーシップ ブロンズ：

3万円

弊団ホームページにお名前（ペンネーム可能）をご記載。

主催公演のプログラムにお名前（ペンネーム可能）をご記載。

主催公演 先行予約のご案内

主催公演 プレミアムエリア席にご招待



4. パートナーシップのメリット：

- ・『All Bach Cantatas』プロジェクトの知名度の上昇に伴い、企業の宣伝につながります。
- ・SDGsにおける 目標4：教育、目標：5 男女雇用機会の均等/ジェンダー平等、目標：8 経済成長と雇用、目標：16 平和 に弊団の事業は取り組んでおり、パートナーシップ企業として社会に貢献することが可能となります。
- ・弊団の主催公演の開演前・休憩時間にプロジェクター等によるCM放映が可能です。新規顧客獲得の機会に貢献することができると考えております。
- ・弊団のコミュニティ（プロムジカクルー）との積極的な関わりを持つことにより、新規顧客獲得が見込まれると思います。

役員 個人略歴

代表者：圓谷 俊貴 *Toshiki Tsumuraya*

福島県古殿町出身。福島県立安積高等学校卒業。チェンバリスト・指揮者。4歳よりピアノ・18歳より声楽・20歳よりチェンバロを学び、東京藝術大学音楽学部声楽科テノール専攻、同大学器楽科古楽チェンバロ専攻の2つの科で学び両科とも卒業。『ゴールドベルク変奏曲』リサイタル（郡山市立美術館主催、2020年）等のソロ活動に加え、通奏低音奏者としてバッハカンタータアンサンブル、N響メンバーによるアンサンブル、石田組、郡山キャナル国際音楽祭2023、サントリーサマーフェスティバル2023等に参加。《アンサンブル室町》メンバー。また、ピアニスト、コレペティートルとしても評価が高く、様々な歌手や奏者がその共演者に指名。第88回日本音楽コンクール木下賞《共演》受賞。声楽を鈴木寛一、Gerd Türk、Rufus Müller、野々下由香里、チェンバロを大塚直哉、ピアノとフォルテピアノを小倉貴久子、指揮法を根本卓也の各氏に師事。合唱団 Collegium Vocale Purafonte 指揮者、Promusica Continuo 株式会社 代表取締役。

《受賞》

第88回日本音楽コンクール木下賞《共演》



コンサートミストレス：池田 梨枝子 *Rieko Ikeda*

東京音楽大学を経て、同大学院音楽研究科修了。講談社・月刊マガジン連載の「四月は君の嘘」において、音源提供・ヒロインの演奏モデルを務めた。大学卒業後古楽に傾倒し、東京藝術大学大学院修士課程(バロック・ヴァイオリン専攻)に進学し修了。第30回国際古楽コンクール〈山梨〉第2位。オーケストラ・リベラ・クラシカ、バッハ・コレギウム・ジャパン、オルケストル・アヴァン=ギャルドなどのオリジナル楽器のオーケストラ、アンサンブルの公演・録音に多数参加。NHK-FM「古楽の楽しみ」、NHK「名曲アルバムプラス」に出演。リサイタルシリーズ『池田梨枝子と Basso Continuo』のほか、オリジナル楽器の弦楽四重奏グループ Just our two cents を立ち上げ、公演を重ねている。古楽オーケストラ・プロムジカ使節団ではコンサートミストレスを務める。



首席チェロ奏者：山本 徹 Toru Yamamoto

茨城県日立市出身。東京藝術大学器楽科、同大学院古楽専攻、及びチューリヒ芸術大学修了。チェロを土肥敬、河野文昭、北本秀樹、鈴木秀美、ルール＝ディールティーンズの各氏に、バロックアンサンブルを鈴木雅明、若松夏美、ケース＝ブッケ、ジル＝フェルドマンの各氏に師事。バッハ・コレギウム・ジャパン、オーケストラ・リベラ・クラシカ等主要な国内のオリジナル楽器オーケストラのメンバーとして定期公演・録音・海外ツアーに参加する。これまでにザルツブルク音楽祭やユトレヒト音楽祭、ライブツィヒ音楽祭、ヨーク古楽祭などヨーロッパ各地の音楽祭にも度々出演している。2006年 第20回国際古楽コンクール<山梨>第2位、2008年 第16回ライブツィヒ国際バッハ・コンクール第2位、2011年 ブルージュ国際古楽コンクール審査員賞、及びデンハーグピアノ五重奏団のメンバーとしてオランダ・ファンヴァッセナール国際コンクール優勝2010年度文化庁新進芸術家海外研修員、2011年度ロームミュージックファンデーション奨学生、2016年 東京藝術大学の集中講義「古楽器概論」講師、2017年シンガポール国立大学ヨン・シュウトウ音楽院でのマスタークラス及び国際古楽コンクール<山梨>審査員



首席オーボエ奏者：荒井 豪 Go Arai

2013年 桐朋学園大学音楽学部を卒業。2013年 ブレーメン芸術大学大学院古楽器科に入学。2015年 ベルリン芸術大学大学院古楽器科に入学、2018年 同大学院を最優秀の成績で卒業。2013年に渡独したのち、ベルリン古楽アカデミー、バツドルファー・ホーフカペッレ、ディヴィーノ・ソスピーロ、ブタベスト祝祭管弦楽団など、ヨーロッパ各地の主要なオーケストラと共演。2015年からはバッハ・コレギウム・ジャパンのメンバーとして定期演奏会や、その他のプロジェクト・録音に参加。圓谷俊貴氏が主宰するプロムジカ使節団では、首席オーボエ奏者および管楽器部長を務めている。2017年6月にはライブツイヒ・バッハ音楽祭にてJ.C.バッハの四重奏曲集 Op.8を演奏。同時に Coviello CLASSICSより同曲集を世界初録音としてリリース。また2022年7月にリリースされたレ・ヴァン・ロマンティーク・トウキョウの1st.アルバム「モーツァルト・ベートーヴェン:木管八重奏」においてはオリジナル楽器を使用し、その録音に参加。ピリオド楽器、モダン楽器の壁を越えてバロックから近現代まで演奏の幅を広げている。ウェブサイト: <http://go-arai.com/>



5. 連絡先情報：

Promusica Continuo 株式会社 プロムジカ・コンティヌオ（カ）
〒171-0022 東京都豊島区南池袋 1-16-15 ダイヤゲート池袋 4・5 階
Tel : 03-6887-1034, Fax : 03-5985-6201

代表取締役 圓谷 俊貴
圓谷携帯 : 090-9031-6543

プロムジカ使節団 オフィシャルウェブサイト
<https://promsinc.com/>

お問い合わせ
info@promsinc.com
office.promusica.baroque.academy@gmail.com

6. 提案の有効期限：

2024 年 3 月末日まで有効

